

食品安全委員会の 1 月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第 76 回 1 月 6 日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（農薬「スピノサド」）に関する厚生労働省からの説明
- ・食品健康影響評価（農薬「ビフェナゼート」及び動物用医薬品 8 品目の再審査（「ニューカッスル病及び鶏伝染性気管支炎生ワクチン（ND・IB 生ワクチン「NP」）」、「ニューカッスル病、鶏伝染性気管支炎、鶏伝染性コリーザ及びマイコプラズマ・ガリセプチカム感染症不活化ワクチン（“京都微研”ニワトリ 5 種混合オイルワクチン - C）」、「豚ボルデテラ感染症・豚パストツレラ症混合（アジュバント加）不活化ワクチン（インゲルバック AR 4）」、「パストツレラ・ムルトシダ（アジュバント加）トキシイド（豚パストツレラトキシイド“化血研”）」、「鶏コクシジウム感染症（アセルブリナ・テネラ・マキシマ）混合生ワクチン（日生研鶏コクシ弱毒 3 価生ワクチン（TAM）」、「前葉性卵胞刺激ホルモン（FSH）を有効成分とする牛の過剰排卵誘起用注射剤（アントリン R・10）」、「ウラジログシエキスを有効成分とする牛の尿路結石治療剤（ウロストン 2 品目）」及び「プロゲステロンを有効成分とする牛の発情周期同調及び繁殖障害治療用腔内挿入剤（イージーブリード）」）について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を農薬「ビフェナゼート」については、厚生労働大臣に、動物用医薬品 8 品目の再審査については農林水産大臣に通知）
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告（再審査の 3 品目「牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢・粘膜病・牛パラインフルエンザ・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン（日生研牛呼吸器病 4 種混合生ワクチン）」、「牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン（日生研 BEF・IK 混合不活化ワクチン、牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン“化血研”及び“京都微研”牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン）」及び「鶏伝染性気管支炎生ワクチン（IB TM 生ワクチン“化血研”）」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・食品安全委員会の 12 月の運営について（報告）

第 77 回 1 月 13 日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（「佐賀県及び佐賀県嬉野町が構造改革特別区域法（平成 14 年法律第 189 号）に基づき提案した方法により養殖されるトラフグの肝」）に関する厚生労働省からの説明
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について報告（12 月分）
- ・感染性胃腸炎の集団発生事例について（厚生労働省からの報告）

第78回 1月20日(木)

- ・ 添加物専門調査会における審議状況について報告(ヒドロキシプロピルセルロースについて、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・ 食品安全基本法第21条第1項に規定する基本的事項のフォローアップについて、企画専門調査会における審議結果を報告
- ・ 食品に関するリスクコミュニケーション - 日本における牛海綿状脳症(BSE)対策に関する意見交換会 - の概要について(報告)

第79回 1月27日(木)

- ・ 食品健康影響評価(農薬「クロチアニジン」及び特定保健用食品「プリトロール」について、意見募集の結果を踏まえて検討。同日付で食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知)
- ・ 新開発食品専門調査会における審議状況について報告(特定保健用食品2品目「黒烏龍茶」及び「松谷のおそば」について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・ 食品安全モニターからの報告について(12月分)

2. 専門調査会の開催

(1) 企画専門調査会

第8回 1月14日(金)

- ・ 食品安全委員会の最近の運営状況について(報告)
- ・ 食品安全基本法第21条第1項に規定する基本的事項のフォローアップについて審議し、結果を食品安全委員会に報告することを決定
- ・ 食品安全委員会自らの判断により食品健康影響評価を行うべき対象の点検・検討に資するための危害情報等に関する報告の聴取・検討

(2) 添加物専門調査会

第16回 1月14日(金)

- ・ 「2,3,5-トリメチルピラジン」、「アミルアルコール」及び「イソアミルアルコール」について検討。国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

第17回 1月26日(水)

- ・ 「ナタマイシン」及び「ナイシン」について検討。に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(3) 農薬専門調査会

第22回 1月12日(水) 14:00~

- ・ 土壌残留に係る農薬登録保留基準の見直しに関する諮問について検討

第23回 1月12日(水) 15:00～

- ・「ジノテフラン」について検討。国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(4) 動物用医薬品専門調査会

第22回 1月18日(火)

- ・「ピルリマイシン」について検討。国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(5) 汚染物質専門調査会

第8回 1月31日(月)

- ・魚介類等に含まれるメチル水銀について検討(参考人(小西東京女子医科大学教授)より講演)

(6) プリオン専門調査会

第19回 1月21日(金)

- ・我が国における牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに関する諮問について検討

(7) かび毒・自然毒等専門調査会

第3回 1月31日(月)

- ・「佐賀県及び佐賀県嬉野町が構造改革特別区域法(平成14年法律第189号)に基づき提案した方法により養殖されるトラフグの肝」について検討(佐賀県及び佐賀県嬉野町からの説明)

(8) 遺伝子組換え食品等専門調査会

第21回 1月24日(月)

- ・遺伝子組換え食品等3品目(「除草剤グリホサート耐性ワタMON88913系統」、「コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ*B. t. Cry34/35Ab1* Event DAS-59122-7」及び「除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統」)について検討。 に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

(9) 新開発食品専門調査会

第19回 1月17日(月)

- ・特定保健用食品4品目(「黒烏龍茶」、「松谷のおそば」、「燕龍茶レベルケア」及び「ブレンディスタイリア低糖タイプ」)について検討。 及び に関して、国民からの意見・情報の募集を行うことについて食品安全委員会に報告することを決定

3. 意見交換会等の開催

(1) 「食品に関するリスクコミュニケーション - 日本における牛海綿状脳症 (BSE) 対策に関する意見交換会 - 」の開催

食品安全委員会では、昨年9月9日に了承された「日本における牛海綿状脳症 (BSE) 対策について - 中間とりまとめ - 」の内容について、理解を促進するとともに、10月15日付け要請されたBSE対策に関する食品健康影響評価について、今後のプリオン専門調査会などにおいて、広く関係者の意見を議論の参考とするため、厚生労働省、農林水産省、都道府県などの協力を得て、全国各地で意見交換会を開催。

各意見交換会では、委員又はプリオン専門調査会専門委員より「日本における牛海綿状脳症 (BSE) 対策について - 中間とりまとめ - 」のテーマで講演を行ったほか、厚生労働省及び農林水産省より「食品安全委員会への諮問の考え方について」の説明を行い、会場参加者との意見交換を実施。1月は、以下の8カ所で開催。

これにより、昨年10月15日の評価要請の後、本年1月17日までに47都道府県50会場での意見交換会を開催した。

- 1月 6日 (木) 水戸
- 1月 7日 (金) 横浜・埼玉
- 1月11日 (火) 静岡
- 1月12日 (水) 長野
- 1月13日 (木) 甲府
- 1月14日 (金) 新潟
- 1月17日 (月) 東京

(2) その他の意見交換会の開催

1月26日 (水)

- ・食品安全委員会及び静岡市の主催により、「静岡市食の安全・安心パネルディスカッション」を開催。本間委員より「内閣府食品安全委員会の役割とリスク分析について」のテーマで講演を行ったほか、「食の安全と安心に向けて」のテーマで消費者、生産者、学識経験者等によるパネルディスカッションや会場参加者との意見交換を実施

1月31日 (月)

- ・食品安全委員会及び栃木県主催により、「とちぎ食品安全フォーラム」を開催。唐木専門委員より『食の「安全」と「安心」 - 食品の「リスク」を考える - 』のテーマで講演、西郷リスクコミュニケーション官より「食品安全委員会の取組について」のテーマで報告を行ったほか、『食の「安全」と「安心」に向けて』のテーマで消費者、生産者、事業者、メディア関係者等によるパネルディスカッションや会場参加者との意見交換を実施

1月31日 (月)

- ・食品安全委員会及び和歌山県主催により、「食の安全シンポジウム」を開催。有識者や専門家の参加の下、基調講演、一色事務局次長が参加したパネルディスカッション、会場参加者との意見交換を実施